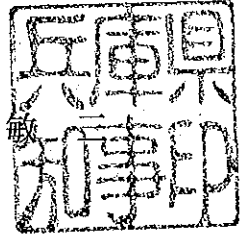


様式第1号

こ 病 第1158号
平成29年1月13日

兵庫県知事 様

兵庫県知事 井 戸



小児救命救急センターの指定申請について

小児救命救急センターの指定を受けたいので、下記のとおり書類を添えて、申請いたします。

記

1 指定を受けようとする医療機関

- (1) 名 称 県立こども病院
- (2) 所在地 神戸市中央区港島南町1丁目6番7
- (3) 開設者 兵庫県知事
- (4) 管理者 県立こども病院長

2 運営開始予定年月日 平成29年4月1日

3 添付資料

- (1) 小児救命救急センターの指定要件の具備状況について (別紙1)
- (2) 小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票 (別紙2)
- (3) その他参考となる資料
 - ・医療機器一覧
 - ・医療スタッフ一覧

小児救命救急センターの指定要件の具備状況について

病院名 (兵庫県立こども病院)

小児救命救急センター指定要件 (救急医療対策事業実施要綱)		病院内の整備・実施状況	充足	参考
1 運営方針：小児救命救急センターとして、以下の運営が可能であること。				
(1)原則として、診療科領域に関わらず、すべての重篤な小児救急患者を24時間体制で必ず受け入れる。	必須	院外からの重症患者をはじめ救急隊や他の医療機関からの要請に24時間体制で受け入れる体制を確保している。	○	
(2)重篤な小児救急患者に対して「超急性期」の医療を提供した後、高度な専門医療が必要な患者については、当該小児救急センター内、又は本院の「小児集中治療室病床(※1)」に転床・転院する体制を確保する。	必須	院外からの患者をセンター内の初療室に収容し適切な処置を行った後、重篤な患者をPICU(6床)へ搬入する体制を確保する。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目5
(3)医学生、臨床研修医、医師、看護学生、看護師及び救急救命士等に対する小児救急医療の臨床教育を行う。	必須	医師、臨床研修医、医学生、看護師、看護学生に対し、小児救急医療に係る臨床教育を実施している。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目10
(4)医師等を救命救急センター等へ一定期間派遣し、研修をさせるなど、小児救急医療の診療技術等の向上を積極的に図るとともに、それに対する支援を行う。	推奨	平成27年度に当院のセンター医師1名を東京都立小児総合医療センターへ約3ヶ月間研修派遣を行っており、救命救急医療、集中治療の知識及び技術の習得に対する支援を行っている。	○	
(※1)「急性期」の集中治療・専門的医療を担う病床				
2 整備基準：小児救命救急センターとして、以下の整備基準を満たすこと。				
(1)専用病床(小児集中治療室病床6床以上(本院でも可)を含む)を相当数有し、24時間体制ですべての重篤な小児救急患者に「超急性期」の医療を提供するとともに、それを脱した小児救急患者に必要な高度な専門医療を提供する。	必須	センターに整備するPICU6床で治療し病状が安定した後、救急・HCU病棟(11床)で引き続き、治療管理する体制を確保する。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目5、6
(2)24時間診療体制を確保するために必要な職員(右のア(7)～イ(ハ)のとおり)を配置する。	ア 医師			
	(7)小児集中治療室に常時、専従の医師及び研修医を確保する。	必須	常時13名の専従医師を確保している。	○
	(イ) (7)の専従医師については、一般社団法人日本集中治療医学会が認定した集中治療専門医、公益社団法人日本小児科医学会が認定した小児科専門医、一般社団法人日本救急医学会が認定した救急専門医など、小児集中治療に指導的立場にある者を1人以上含む。	必須	13名の専従医師のうち、4名が集中治療専門医、7名が小児科専門医、1名が救急専門医である。	○
	イ 看護師及び他の医療従事者			
	(7)小児集中治療室に常時、重篤な小児救急患者の看護に必要な専従の看護師を患者2名に1名以上の割合(必要時には患者1.5名に1名以上)で確保する。	必須	専従看護師25名を確保し、PICU6床に対し常時3名以上の看護師を配置する。	○
	(イ) (7)の看護師については、重症集中ケア認定看護師が勤務し、指導的役割を担う。	推奨	重症集中ケア認定看護師を1名を配置している。	○
	(ウ)院内に常時、診療放射線技師及び臨床検査技師を確保する。	必須	休日、夜間帯を含め常時院内に、放射線技師、検査技師を各1名以上確保している。	○
	(エ)院内に、理学療法士及び臨床工学技士を確保する。	必須	平日の日勤時間帯に理学療法士を2名、臨床工学技士を9名確保している。	○
	(オ)小児集中治療室に、薬剤師を確保する。	推奨	平日の日勤時間帯について、PICUに薬剤師1名を確保している。	○
	(カ)院内に、社会福祉士を確保する。	推奨	平日の日勤時間帯に2名確保している。	○
(3)小児集中治療室病床については、年間おおむね300例以上の入院を取扱い、そのうち相当数が救急外来からの入院、又は他院からの搬送入院である。	必須	現在、PICU4床で運営しているが、直近の年間実績(H27.11～H28.10)では、309例の入院患者を受け入れており、うち、救急外来、他院から105名、95名を受け入れている。なお、当院のPICUは、主に重篤な小児患者を受け入れており、救急外来からの入院が必要な軽症患者は、主に救急・HCU病棟に入院させている。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目13④
(4)救急搬送を相当数(本院を含む)受け入れる。	必須	新病院移転後(H28.5～H28.10)、864名の救急搬送を受け入れている。	○	
(5)施設及び設備	ア 施設			
	(7)専用の小児集中治療室を6床以上有し、独立した看護単位を有する。	必須	PICU6床を整備し、独立した看護体制のもと、専従看護師25名を確保、常時3名以上の看護師を配置する。	○

小児救命救急センター指定要件 (救急医療対策事業実施要綱)		病院の整備・実施状況	充足	参考
(イ) 小児救命救急センターとして必要な専用の診察室 (救急蘇生室) を設ける。	必須	センター専用の診察室を4室確保している。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目6
(ウ) 緊急検査室、放射線撮影室、手術室等について、優先して使用できる体制を確立する。	必須	院内に緊急検査室、放射線撮影室、手術室等を整備しており、緊急時に優先して使用できる体制を確立している。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目6
(エ) 必要に応じ、適切な場所にヘリポートを整備する。	推奨	屋上にヘリポートを整備しており、新病院移転後 (H28.5~H28.10)、28件のヘリ搬送実績がある。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目12
(オ) 診療に必要な施設は耐震構造である。(併設病院を含む。)	必須	病院建物は免震構造を採用している。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目7
イ 設備				
(7) 必要な医療機器を備える。	必須	別添「医療機器一覧」を参照	○	
(4) 必要に応じ、ドクターカー (※2) を有する。	推奨	ドクターカーを2台有しており、当院と医療機関間の重症患者搬送に利用している。	○	別紙2「小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票」項目11
(※2) 患者監視装置等の医療器械を搭載し、医師、看護師等が同乗し、搬送途上へ出動する救急車				

小児救命救急センターの運営に関する施設等調査票

1 施設名	兵庫県立こども病院				
2 開設者	兵庫県病院事業管理者				
3 施設所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目6番7				
4 運営開始(予定)年月日	平成29年4月1日				
5 運営病床数	病院全体(小児救命救急センター含)		再掲(病院全体)		
	269床	ICU	床	SCU	床
		CCU	8床	小児集中治療専用病床	6床
	小児救命救急センター		再掲(小児救命救急センター)		
	17床	小児集中治療専用病床	6床	その他 11床	
6 小児救命救急センター専用の施設 (センター優先は上段()に別掲)	診察室 (救急蘇生室)	手術室		緊急検査室	放射線撮影室
	(4) 室	緊急 () 1室	一般 () 5室	() 室	() 3室
7 耐震整備状況(未耐震割合(%)を記載)	小児救命救急センター		100.0%	併設病院(併設病院がある場合)	0.0%
8 救急告示指定の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無				
9 臨床研修指定病院の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無		指定年月日	平成 年 月 日	
10 27年度研修受入実績	年間研修サイクル	年間実人数	年間延べ日数	研修名等	
卒業前	医学生	1回	3人	11日	初期体験実習
	看護学生	4回	16人	36日	看護学生実習
	救急救命士		人	日	
卒業後	医師	1回	5人	660日	後期研修プログラム
	臨床研修医	1回	3人	150日	選択実習プログラム
	看護師	1回	6人	1日	病院見学実習
	救急救命士	1回	11人	11日	救急隊員への小児救急研修
11 ドクターカー運用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無				
12 使用可能なヘリポートの有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無		有の場合→	緊急時屋上ヘリポート(臨時離着陸上)	
13 診療体制等					
① 専従医師	常時、専従医師確保の有無				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	常時、専従研修医確保の有無				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	専従医師数(人)※				13人
	※のうち、日本集中治療学会に認定されている医師の人数(人)				4人
	※のうち、日本小児科学会に認定されている医師の人数(人)				7人
② 専従看護師	平日の配置人数(人)		休日の配置人数(人)		
	日勤時間帯	7人	日勤時間帯	6人	
	準夜時間帯	3人	準夜時間帯	3人	
	深夜時間帯	3人	深夜時間帯	3人	
	専従看護師数(人)		25人		
うち、重症集中ケア認定看護師の人数(人)		1人			
③ その他職員	診療放射線技師の常時確保(併設病院可、オンコールは対象外)				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	臨床検査技師の常時確保(併設病院可、オンコールは対象外)				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	理学療法士の院内確保(併設病院可、一部をオンコールで対処可)				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	臨床工学技士の院内確保(併設病院可、一部をオンコールで対処可)				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	小児集中治療室への薬剤師確保				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
社会福祉士の院内確保(併設病院可)				<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
④ 小児集中治療室病床	平成28年年間入院患者実数(人) ※H27.11~H28.10				309人
	うち、救急外来の受入(人)				105人
	うち、他院からの受入(人)				95人

医療機器一覧(小児救命救急センター)

番号	商品名	製造メーカー	品番	保有台数
1	シーリングペンダント	ドレーゲル	Agila、Agila Easy Lift	16
2	生体情報モニタリングシステム	フィリップス	セントラルモニタ、MP30、MP50、MP70、MX500、MX800	30
3	超音波診断装置	フィリップス	CX50	1
4	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン	LOGIQePremium	2
5	ホッケー型高周波リニアプローブ	GEヘルスケアジャパン	L8-18i-RS	1
6	脳圧計	ジョンソンエンドジョンソン	82-6637	1
7	脳波計	日本光電	EEG-9100	2
8	脳神経データネットワークシステム	日本光電	CNN-2000	1
9	心電計	日本光電	ECG-1350	1
10	低体温自動冷却加温装置(低体温管理装置)	アイ・エム・アイ	モデル500	1
11	低体温自動冷却加温装置	アイ・エム・アイ	アーキテックサンモデル5000 NITRO-200NX Venue40	2
12	呼気ガス分析装置(赤外線酸素モニタ)	浜松ホトニクス	NIRO-200NX(専用架台付)	1
13	血圧ガス分析装置	ラジオメーター	ABL800FLEX	1
14	内視鏡システム	オリンパス	OTV-S1他	2
15	LEDヘッドライト	メディカルプログレス	OSYS	2
16	移動式X線撮影装置	日立製作所	シリウス130HP	1
17	除細動器	フィリップス	HEARTSTARXL	2
18	モニタリング機能付除細動器	旭化成ゾールメディカル	RSeriesALS除細動器+Pacing+SpO2+CO2	2
19	人工呼吸器	東機質	E-150	2
20	人工呼吸器	フィリップス	V60ベンチレータ	2

21	人工呼吸器	コヴィディエン	ベンチレータ840	3
22	人工呼吸器	日本光電	HAMILTON-T1	1
23	MacGrath MACビデオ喉頭鏡	コヴィディエン	300-000-000	2
24	シリンジポンプ	テルモ	TE-331ON	18
25	シリンジポンプ	テルモ	TE-331SIN	30
26	輸液ポンプ	テルモ	TE-161SAP	20
27	補液・血液ポンプ	ニプロ	MP-300	2
28	ICUベッド	シーホネンス	SI-850T(ベッド)ケーブ CR-229(マットレス)	2
29	エマージェンシーICUベッド	東機貿	スプリント	2
30	ストレッチャー	パラマウントベッド	KK-723	2
31	シャワーストレッチャー	東陽精工	TY225ESSB	1
32	ヘビーストレッチャー	アトムメディカル	RO-6812	1
33	血液保冷庫	三洋電機	MDF-137	1
34	医療用フリーザー	三洋電機	MBR-107T	1
35	薬品保冷庫	三洋電機	MPR-213F	1
36	薬用冷蔵ショーケース	三洋電機	MPR-513R	1
37	輸液輸血加温装置	スミス・メディカル	ホットラインHL-90	1
38	乾熱式温乳器	アズワン	Mil-onK-2	1
39	バリアフリースケール(手摺付)	エーアンドディー	AD-6107	2

小児集中治療室に係る専従医師名簿

No.	氏 名	臨床経験年数	専門領域	学会の資格
1	黒澤 寛史	16	集中治療	日本小児科学会 日本救急医学会
2	長谷川 智巳	20	集中治療	日本集中治療学会
3	椎間 優子	15	集中治療	日本小児科学会
4	青木 一憲	12	集中治療	日本集中治療学会 日本小児科学会
5	制野 勇介	10	集中治療	日本集中治療学会 日本小児科学会
6	祖父江 俊樹	8	集中治療	日本小児科学会
7	楠本 耕平	8	集中治療	日本小児科学会
8	染谷 真紀	7	集中治療	
9	増井 美苗	6	集中治療	
10	神納 幸治	5	集中治療	
11	高寺 侑	5	集中治療	
12	平田 旭	5	集中治療	
13	伊藤 雄介	12	集中治療、感染症医療	日本集中治療学会 日本小児科学会